

令和6年度在宅療養あんしん病院登録システム利用状況調査結果（概要）

【目的】

在宅療養あんしん病院登録システムの登録者の入院等の利用状況、院内での周知状況等を把握し、今後の本システムの改善を行い本システムの満足度向上を図るとともに、今後の利用拡大に結びつける。

【調査方法】

- (1) 方式：アンケート方式
- (2) 対象：在宅療養あんしん病院 134病院
- (3) 評価期間：令和6年10月1日～11月30日

【利用状況調査結果】 ※有効回答数N=134病院

- (1) 利用実績等について（登録者数はR6.12.31時点）

入院利用実績のある病院数	登録者数 (45病院)	利用者数 (入院した人)	利用者の 平均年齢	利用者の 平均入院日数 (入院中を除く)	在宅関係者への 退院調整連絡
45病院	10,180人	325人 (うち、かかりつけ医によるあんしん病院依頼は70人)	85.2歳	17.3日 (癌・心不全等を含む)	有53.4% ----- 無46.6%

※（参考）全登録者数 14,142人

- ・利用実績を調べるにあたり、本システムを利用した入院かどうかの判断が困難であることから、登録者が入院した事例全てをカウントしている。

(2) 病院における地域連携担当者の取り組み状況

患者からの本システムに登録したいとの相談	有52.2% 無47.8%
登録者優先の入院調整	有58.2% 無41.8%

システム未登録者への紹介	有 28.4% 無 71.6%	
	無の場合の理由 ① 患者登録の手続きが煩雑 5.6% ② 診療報酬上の位置づけや補助がない 10.1% ③ 対象者像が不明確 10.1% ④ 入院対象となる状態の患者が少ない 23.6% ⑤ 既に多職種連携体制が構築できている 23.6% ⑥ 患者の病院への依存度が高くなる 2.2% ⑦ 患者がシステム登録や活用を拒否 1.1% ⑧ その他(*) 23.6%	
院内の周知状況	医師	よく周知されている 6.0% まあまあ周知されている 41.8% あまり周知されていない 40.3% 全く周知されていない 6.0% わからない 6.0%
	病棟師長	よく周知されている 9.0% まあまあ周知されている 42.5% あまり周知されていない 37.3% 全く周知されていない 6.7% わからない 4.5%
	医事部	よく周知されている 24.6% まあまあ周知されている 49.3% あまり周知されていない 21.6% 全く周知されていない 3.0% わからない 1.5%
うまく活用できた事例	有 5.2% 無 94.8%	
利用者からの苦情	有 0.7% 無 99.3%	

(*) 患者退院時のシステム紹介を行わない理由が「その他」の場合の主な内容

- ・ほとんどが死亡退院のため。(6件) ・在宅退院される方が少ないため。(3件)
- ・登録をしていなくても可能な限り入院を受け入れるため。(3件) ・人員不足のため。(2件)
- ・自院がかかりつけ医である、あるいは入院歴があり必要性を感じない。(2件)

(3) 本システムに関する評価(自由意見)

- 本システムを利用して良かった点、退院時の連携が進んだ点
 - ・登録者のかかりつけ医、ケアマネジャー、キーパーソン等がすぐに把握できる点が良い。
 - ・本システムを活用している開業医とは連携が取れている。
 - ・今後いざという時の場合に備えて患者のためにも本システムを継続していきたい。
- 本システムの改善要望点
 - ・診療所の医師にもっと認知してもらい、かかりつけの患者に登録を推進してもらえば、もっと利用が進むと思う。
 - ・かかりつけ医からの「あんしん病院」への登録勧奨ではなく、ケアマネジャー発信になれば件数は増えるかもしれない。
 - ・レスパイト入院においても有効活用できるシステムになれば活用の幅が広がると思う。

- 初期の認知症の人の専門医への受診が遅れがちである。例えば、登録病院の中に1か所は認知症の専門外来を実施している医療機関を含めることがルール化できれば受診勧奨になると考える。
- 全く受診歴のない患者に登録して頂いても、普段の状態等の把握ができない。
- 事前登録はされていたが、かかりつけ医からの紹介なく、紹介状も持たずに直接来院されたケースがあった。
- システムに関してはとても良いと思うが、実務としては地域連携室が中心となって他事業所のケアマネジャーや施設、病院等と入退院支援及び地域連携をおこなっており、システム介入が不要な場合がほとんど。また、診療報酬上の位置づけがないことや、病院によって入退院の取扱いが異なるので実用に至っていない。
- 確実に入院できる、あるいは優先的に入院できると勘違いされる患者が多いのでその説明をわかりやすくしていただきたい。救急指定のある病院では、重症患者を優先的に受け入れるため、あんしん病院登録での優先は難しい。

以上